

2025年3月期 第3四半期決算説明会(電話会議) Q&A サマリー

Q: 機器 通期業績予想 売上高は上方修正したが、営業利益が下方修正となった理由

A: 半導体市場の回復が期初の予想より鈍かったことにより、新工場の稼働時期を見直しましたが、その準備費用として経費が発生し、利益圧迫要因となりました。

Q: 各工場の稼働状況

A: 2Qと比較して、春日井工場、四日市工場において稼働率が上昇しております。

Q: 半導体市況 4Qの見通し

A: 3Qは生成AI関連の需要が堅調に推移いたしました。4Qも引き続き生成AI関連向けは好調を見込んでいるため、横ばい、もしくは微増と見ております。

Q: 機器事業の業績が回復し、新工場の稼働が上がるタイミング

A: 25年度下期以降から徐々に回復し、26年にはある程度の需要が見込めると見ております。

Q: 自動機 今後の見通し

A: 包装機においては、ジェネリック医薬品向けの大型投資は一時期と比べ減少していますが、受託の製薬メーカー向けなど、継続した需要を見込んでいます。

リチウムイオン電池製造システムについては、BEV向けの投資は不透明な状況です。

以上